

# ネット広がるMITEOS

プラネットが2013年2月にスタートさせた「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

立ち上げから約1年半が経過した現在、51社(メーカー46社、卸売業5社)がミテオスを活用。利用企業の高い評価を得

を越えている。そのEDIサービスでこれまで培ってきた機能性をより手軽に享受できるのが「ミテオス」だ。

「MITEOS」(ミテオス)の展開を計画している。「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

## 200社活用目指す

### 簡易EDI機能が手軽に

年2月にスタートさせた「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

年6月末現在のEDIサービス利用企業はメーカー、卸売業、資材サプライヤー(消費財の原材料)を合わせると、1100社を超えている。そのEDIサービスでこれまで培ってきた機能性をより手軽に享受できるのが「ミテオス」だ。

「MITEOS」の利点は「シンプル」、「セーフティ」という3つのキーワードにまとめられる。まず、ミテオス

「シンプル」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

「セーフティ」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

「EDI活用」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

「EDI活用」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

「EDI活用」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

「EDI活用」は、EDIの煩雑な入力作業を省くことができる。また、出荷確定した後の売掛情報をデータ送信し、EDIによるデータ交換が可能になる。また、EDIによるデータ交換が可能になる。

